

令和7年12月定例会議 一般質問

7番議員 今西 景子

高齢者が充実して暮らせるまちづくりについて問う

超高齢化社会を迎えた今日、開成町においても高齢者は今後ますます増加していくことが見込まれ、要介護者や、ひとり暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯が増えていくことが予測される。

また、開成町の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、高齢者の尊厳を保持し、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むための有効な手段として、医療・介護・介護予防・住まい及び生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」と、介護と医療の連携を強化するため、神奈川県保健医療計画との整合性の確保が求められるとしている。

一方で、開成町は介護報酬の地域区分が近隣市町より低く、介護職員の確保や施設運営に影響が生じるおそれがある。地域区分見直しの要望を行い、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むための具体的な方策を問う。

- 1 老人会やシルバー人材センター等への支援の現状と課題は。
- 2 高齢者等の暮らしを見守る民生委員の地域活動の現状と課題は。
- 3 介護施設及び在宅介護の現状認識と介護報酬の地域区分に対する町の見解は。